



山庄太夫咲分娘



へ 13
3978

1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 100



白序

西

笠舞歌

涼仙

芸齋日永にて読耕
倦枕と採て牢予と學ん
と達時々客より桑樞を
啓て入る是則文寿堂乃
妻うかのどくひよひ

山
次郎



霜月
後押
蓮 蓼 蒂

京水

喜

東山房

王丸



とすや風流り一氣
うなぐとそをまつらまつ
思ひはまうううううう
あいすてまますとくとく
ひき聲せんまゆ人所下れ
よもと冬をけふのむえと
たか處乃中亭をかうコサ
先駆ひす林とくとくとく
前ひかまへまつるとくとく
移事ひす音生半七日せち
とおぬへと先をかうひの
のうらよ初そあがみ秋の
まくとまくとまくとまくと
まくとまくとまくとまくと
まくとまくとまくとまくと

まちのひうらまつて一冊へゆけ

生もとくをそれよれすか

今朝一月は越後國二千一冊りき

あまみとせくせくだよ

ひともじくれゑくじれて

一時やーたる星のやへせん

あい玉の文昌星の

あい玉の文昌星のやへせん



文化辛未の暮春
京橋立賣の新居あらそ

山東京山題



由良
三郎

十界和歌

之内佛界

くわきよ
雲とさなぐ
そぞれまきて
まゆ月うれ

山莊太夫

怒恨懸懸雄
驅虎豹

圓田



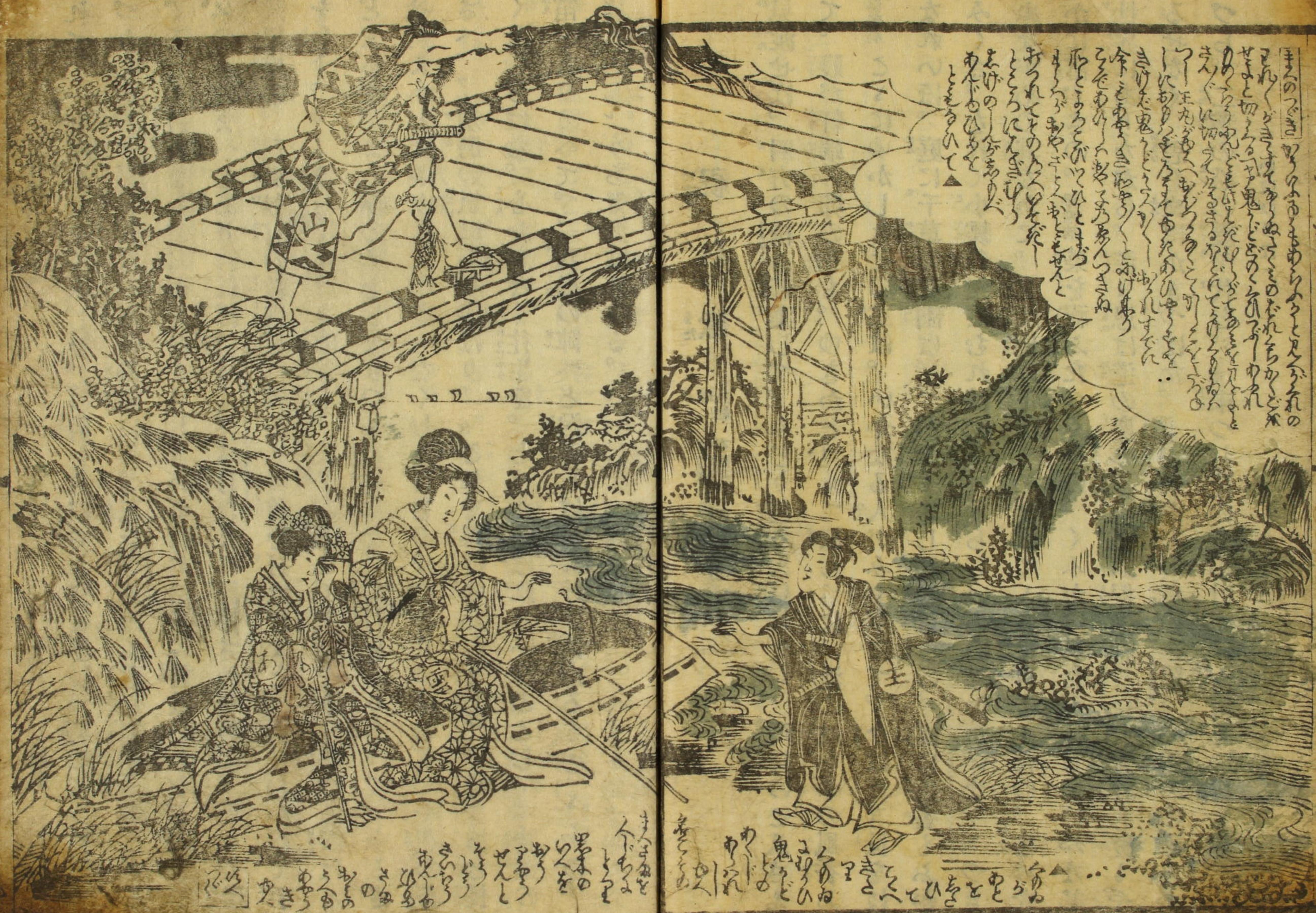








まことのでき
アリタタマモアリナリと見こすがれの
エレーデキミキモアリミの本れ毛りかくざ
サモと切らる。ア鬼どどろくとあすけられ
のうらみんとどもほし死せし。がとうまをかくよ
えぐに切らる。かとてあらのゆみ
ア王丸をあへむもろくとこりとくとくがれ
にありんをきよそあたあひゆみを
きりた鬼をどうぞくとくとくがれ
余もあをきわせりくとありあう
こをあぐへああああんづみ
而とまうとあくとせとまう
シテモうれやうとくとせんと
せんとくとくとくとくと
おけのうかあり
あ木のひかと
ともうひて





作者曰
山のまほし
山のまほし
山のまほし
山のまほし
山のまほし

ワウウ

九



さう不じて出立つてはまにてをなぞりと
ふひのあとをあいかげにばくゆれ
やへあれど左義もわのゆきすら
ひそくうつしよくかくよびとくにとも
あやきよとけいよとせきへ
はくもあきよとくにともやうのゆくを
よびよせんよとせきへ
おれいよしよがくよびとくにとも
りよりれよくよびとくにとも
のすもあうよくよびとくにとも
けいよくよびとくにとも
おれいよしよがくよびとくにとも
よびとくにとも
こゑのうりよくよびとくにとも
ひのうりよくよびとくにとも
金によきよくよびとくにとも
のすもよくよびとくにとも
人せよよくよびとくにとも
まようなりよくよびとくにとも
よくよくよびとくにとも
わくよくよびとくにとも











山庄太夫咲分娘後編三冊

作者口上

奉丈のゆをひつやまきくちうと
ゆのうはまに京山城するをまきく
様うでさよとうけまの冒々相ひるる
ゆ。水晶粉とや十三味のゆ
やくとすきとこまやんと
かわとすきとこまやんと
白く小あらとめばしらのけや
をとろくす。ひぐ。そがうと。まみ
やけを。らきあはづりと
われせものおとまえととせと丁て
りらんでとくとくとくとくとくと
右ゆひと一包一茶二本
ほん京は一京付とまも
をまもるあやは

不んりん
こうじゆ山ちうかうかうかうかうか
アキルのゆへとくちうとくとくとく
あらりふとくのうあらりふとくの
こくに岩木のきくらうつ玉丸









かのきをもたてて山を太夫がひまわ
りとすき事へまづよからうかんわひと
人あむあらうかうざうもこなあひ
きやうさひと
えれとてまつたけ

そこのね
えりへりと
きみあはんと
おきうきと
をくよの
ゆめくいん

おひそかに
あらてゆくべ
アリもあらんゆうそ
女がうとさうら
あしとれをまらすき

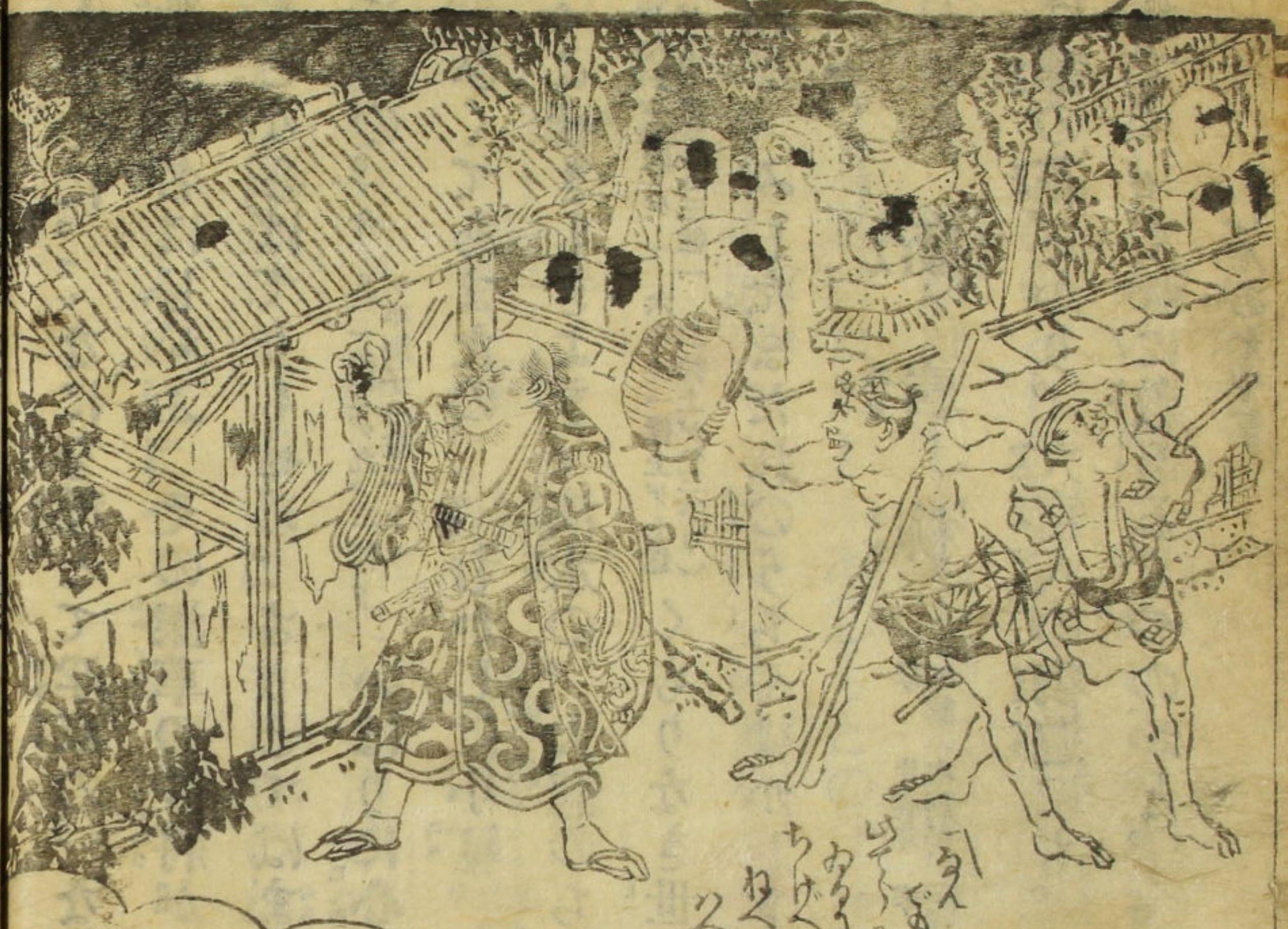
まちのやうと
ひるくとじゆのと
りそとまらすと
かくあだゆいと
まくめくまくまく

りりぎやかのとせうとと
三人のゆめうとまくと
とうぐのゆめうとまくと
あてととめうとまくと
あれいとくばくとめうとまくと
れいとくばくとめうとまくと

あてととめうとまくと
うごくとめうとまくと
うごくとめうとまくと
うごくとめうとまくと
うごくとめうとまくと



▲おのうちき
とまうの内の土角り
きまくのそのそ
ゆゑとまうの
そりせぬお
まくともあ
りくとまく
まくともあ
りくとまく
まくともあ
りくとまく
まくともあ
りくとまく











天保九年戊戌初春新影

修紫田舎源氏

柳亭種彦作
歌川貞秀画

佐野渡仙敵懸橋

全六冊

櫻風呂花翠開

全四冊

松代ゆ望の舞浪

全二冊

復讐園學茶話文庫

全四冊

五雲亭貞秀画

金花貓婆化生舎

全六冊

歌川貞秀画

全二冊

小繪

全二冊

歌川貞秀画

全二冊

義艶仙女香
黒油義香

四十人銅
珠本氏製



書物錦繪

江戸通油印

團扇地紙問屋 鶴屋喜右衛門



